

令和5年度地域生涯学習活動実践交流セミナー

— 日高管内事例発表 —



日高管内青少年体験活動推進事業

ひだか未来塾



発表 新ひだか町教育委員会生涯学習課 山口 理絵

日高町 (日高町・門別町)

平取町

新冠町

新ひだか町 (静内町・三石町)

浦河町

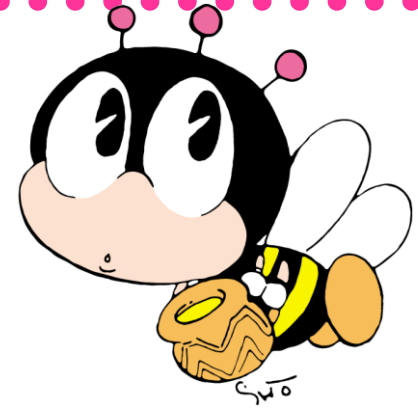
様似町

えりも町

日高は日高山脈と太平洋を  
のぞむ自然豊かな地域です。

北海道の中でも夏は涼しく、冬は雪が  
少ないことから、競走馬の育成に適した地域  
として全国一の生産数を誇っています。

# 「ひだか未来塾」とは・・・



中学生と高校生を対象とした研修事業です。

生徒達が他町の参加者と交流をしながら、地域課題への興味関心を高めるとともに、その解決に向けた協議などをおして、ボランティア活動などの地域の事業に主体的に参画する意欲や態度を身につけることを目的としています。

## 事業主体

- 日高管内社会教育職員研究協議会
- 日高管内社会教育主事会

- 日高管内社会教育職員研究協議会 社会教育指導部会研修会を兼ね、実施費用は研修予算で支出。  
役割は西部・中部・東部の3ブロックでローテーションし、全町が関わり事業運営をしている。

企画・運営	中部	新冠・新ひだか
発送・集約	西部	日高・平取
記録・報告	東部	浦河・様似・えりも

## ■ はじまりは ■

平成30年度から、道教委主催の「ジュニアリーダー」事業がネイパルの主催事業となり、地理的に参加者数が限られることなどを鑑みた。

これまで職員研修やブロック内の連携はあるが、日高全体の連携事業はない。

これを機会に日高7町で青少年事業を開始しよう！

- |          |  |       |
|----------|--|-------|
| ■ 平成30年度 | 「ふるさと日高の未来のために、いま私たちにできること ～ 日高ってこんなところ」 | 新冠町   |
| ■ 令和元年度  | 「地域のために、私たち中高生にできること ～ 防災プログラムをとおして」     | 新冠町   |
| ■ 令和2年度  | (中止)                                     |       |
| ■ 令和3年度  | 「持続可能な世界を創るために私たちができること ～ SDGsって？」       | オンライン |
| ■ 令和4年度  | 「 “ ” ～ SDGsと私たちのまちづくり」                  | 浦河町   |

# 令和5年度 ひだか未来塾

令和5年11月25日(土) 新ひだか町 体育館、公民館

## テーマ

持続可能な世界を創るために、わたしたちができること

～ スポーツとSDGs 障がい者スポーツを知ろう ～

**北海道教育委員会が推進する**

**「障がい者の生涯学習理解促進キャラバン隊」事業の**

**協力を得て、講師派遣・情報提供等の支援を受けました。**

## プログラム

- 10:30～ 開会式
- 10:40～ ①実技「スポーツとSDGs～障がい者スポーツを知ろう」
- 12:00～ 昼食・休憩 公民館内の食堂（福祉事業所）の弁当を斡旋
- 13:00～ プレ大会 ※チーム戦
- 14:20～ ②座学「スポーツを通じて すべての人に笑顔と笑い声を」
- 15:00～ 閉会式

### 参加者 46名

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ◆ <u>高校生</u> 13名 | ◆ <u>教員</u> 5名    |
| ◆ <u>中学生</u> 14名 | ◆ <u>教委職員</u> 14名 |

## 講師 NPO法人 あ・りーさだ 代表理事 正木 英之 さん

「NPO法人 あ・りーさだ」は、障がい者スポーツの普及啓発および障がい児・障がい者の健康維持と促進を支援する団体です。誰もが参加できる共生社会の実現を目指し、小学校や各種団体向けの障がい者スポーツ体験教室の実施等、幅広い活動を展開されています。

本拠地 夕張市 廃校舎2校を自主管理

事業所 札幌市 児童発達支援・放課後等デイサービス

事業 障がい者スポーツの普及啓発

地域共生事業、北海道チャレンジドスポーツクラブ

障がい者就労支援



あ・りーさだ (a-risada) ポルトガル語で「



## 実技の準備・・・チーム編成

あらかじめ、赤・青・黄でチーム編成。

高校生・中学生・教員・教委職員。みんなバラバラ。ただし・・・

チームごとに集まり自己紹介

リーダー選出

チーム名決定

赤「  
青「  
黄「

# ①実技 「スポーツとSDGs ～ 障がい者スポーツを知ろう」

2



# フライングディスクゴルフ



名前のおりルールはゴルフに似ています。  
ゴールのバスケットにディスクをどれだけ  
少ない投数で入れられるかを競います。

# ボッチャ



ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを、投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

## シッティングバレー

おしりを床につき、座った姿勢でプレーする6人制のバレーボールです。

選手はおしりを床から離せないため、腕の力でおしりを滑らせるようにポジションを移動します。



## 競技用車いす体験

A

バスケットボール競技用車いす・ラグビー競技用車いす・  
スプリント競技用ハンドサイクル・2人乗り自転車を体験！



## ②座学「スポーツを通じて すべての人に笑顔と笑い声を」

講師 NPO法人 あ・りーさだ 代表理事 正木 英之 さん



### ●障がい者スポーツ体験の目的●

- 乗ってみる、やってみる …… スポーツを通して障がいの理解をする
- 楽しみ、広げる …… 共成社会のきっかけ、かかわり方を創る
- コミュニケーションスキル …… スポーツの楽しみ方の共有
- 持続、継続を考える …… スポーツをとおしての生活環境づくり

## ②座学「スポーツを通じて すべての人に笑顔と笑い声を」



### ●「あ・りーさだ」が目指すこと●

● ゼロからの創造と構築

● 学び場を創る

...

障がい児のための専門学校

● 自分に合った仕事を見つける

...

生産性のある職業の選択

● 家族を創る

...

自立のための自律を基本においた  
色々な形の家族(サポート)



## 参加者の感想

2人乗り自転車はで視覚障がいの方を再現して、目隠しをした状態で後ろの席に乗って見ましたが、怖くて手も足も震えました。前に乗る人の声かけのおかげで乗れましたが、転ぶことへの恐怖はすごかったです。

今は、身近に障がいの方はいませんが、そのような方達も行えるスポーツがあることを改めてすごいなと感じました。ルールが簡単で、コミュニケーションがとれるスポーツを他にも知りたいと思いました。

車椅子バスケットは、●の○くんがドラマで使用しているのを見たことがあります。実際に乗ってみると思っていた以上に大変で、これを操作しながらボールを使ったりするのはすごく難しそうです。

同じ学校の友達とグループが離れて不安でしたが、皆さんがサポートしてくださり、良い感じに体験できました。テレビで見たことがある「ボッチャ」が一番楽しかったです。車椅子バスケットは個人的にすごく興味があるスポーツです。知らないことを教えていただきありがとうございました。

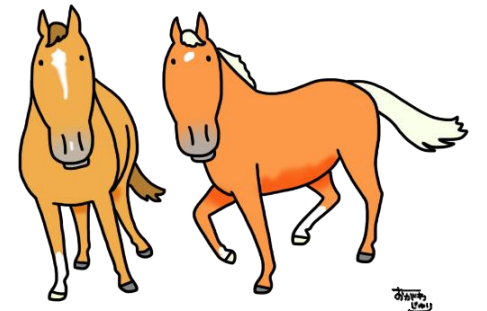
今回このような機会をいただき、普段考えないことを深く考えることができました。

障がい者スポーツと聞き、私には関係ないと思っていたのですが、今日やってみて、障がい者だけでなく、色々な人が楽しんで競技できるためのスポーツだと思いました。また、障がいを持っている方の現状などを知り、共生していくという課題がとても大事だと強く思いました。私は将来スポーツの指導者になりたいと考えているので、全ての方に楽しんでもらえることを目指していきたいと考えさせていただきました。

## 感想まとめ

今回の研修では、参加した中学生や高校生だけではなく大人も、実技や講演を通して、共生社会への理解を深め、その学んだことを学校や地域へどのように活かしていけるのかを真剣に考え交流を深める機会となりました。

この研修が、子どもたちの知識や経験として心に積もり、どこかで誰かと支え合う力になってほしいと願います。



## 課題

- 限られた時間 興味関心 → 考察 → 実践・発表 → 振り返り
- 参加者 前年度の反省 教員への参加呼び掛け
- 開催時期 10月頃まで スポーツ事業、文化事業等がフル回転  
11月上旬まで 中学高校の学校行事・修学旅行・テスト
- 結果 冬季実施の傾向 〈雪は少ないが・・・寒い、道路心配〉  
インフルエンザなどの感染症の流行も懸念
- 開催地 ローテーション・往復の行程を考える・各地の特色

## 研修内容

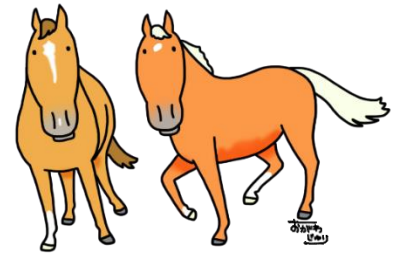
ひだか未来塾はこの数年、SDGsをテーマに進めています。

SDGsの

**「誰もが取り残されない、一人ひとりが幸せな社会を実現する」**

という目標は、社会教育の「つながり」「学びあい」に共通します。

研修中に仲良くなっていく子どもたちと同じように、大人も色々な隔たりなく、視野を広げながら、持続可能な共生社会づくりの担い手である青少年を育む学び合いを、日高管内職員一つとなり推進してまいります。



# ひだか未来塾



ありがとうございました。